

環境教育活動II

環境教育分野の教員6名が連携して実施する「環境教育活動II」では、前半の7週間は日本環境教育学会編『環境教育』（教育出版）をテキストに学び、中間の4コマはセミ集中講義として実施される環境活動体験（釧路湿原探訪、釧路川カヤック下り、ものづくりのいずれか）を受講、残りの4週間は学生が2ずつでテーマを決め、環境教育の模擬授業を行い、検討会を行います。この授業を通して、学生は理論と体験をむすびつけた環境教育の授業づくりのコツをつかむことができるでしょう。（生方 秀紀 記）



釧路湿原探訪(1)新庄久志先生（非常勤講師）から湿原の植生の説明を受ける（左）。(2)農地から流れ込む水の湿原への負荷を軽減する施工区での水質・土質の変化を調べる（右）。



(3)湿原と丘陵が接する部分の湧水池で水質と水生昆虫調査（環境省、文化庁許可）（左）。模擬授業の後の検討会。模擬授業は常に教員2名が臨席して指導助言を行うほか、学生からも活発に質問・意見が提出される（右）。